

令和4(2022)年度 奥田元宋・小由女美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行った。

令和4年度もコロナ禍ではあったが、感染対策を行いながら開館した。

小由女先生が令和2年(2020)年に人形作家として初めてとなる文化勲章を受章されたことを記念した事業を推進するため、三次市奥田小由女文化勲章受章記念事業実行委員会が設置され、特別展「文化勲章受章記念 奥田小由女展～元宋作品とともに」の開会式が4月28日(木)に、翌日29日(金・祝)には市民ホールきりりにおいて「三次市名誉市民奥田小由女文化勲章受章記念シンポジウム」が行われた。

【臨時休館及び臨時開館】

・9月には、台風14号の接近により、公共交通機関が始発から終日運休や運転見合わせとなり、災害も懸念され、来館者及び職員の安全を確保するため、令和4年9月19日(月・祝)を臨時休館したが、企画展が好評であったため、10月12日(水)を臨時開館した。

・監視カメラ設備更新のため令和5年1月23日(月)・24日(火)を臨時休館、大雪の影響を考慮し、1月26日(木)を臨時休館とした。

【公益目的事業】

1 展示事業

奥田元宋の「日本画」と奥田小由女の「人形」を展示する常設展と年5回の企画展を開催した。

(1) 常設展の開催

|   | 名 称  | 会 期 (開館日数)                          | 入館者数 |
|---|--|-------------------------------------|------|
| 1 | 令和3年度第4期常設展<br>「奥田元宋と奥田小由女の世界」   | 展示期間<br>4月1日～4月24日 (21日間)           | 460人 |
|   |  | 会期 令和3(2021)年12月23日<br>～4月24日(47日間) |      |
|   | 【概要】奥田元宋作品の大作は「元宋の赤」を中心とした構成。師匠である児玉希望の代表作《波濤群鶴》とともに元宋の花鳥画の小作の展示も実施。奥田小由女作品は初期の時代か作品から近作までを幅広く展示した。総点数40点。 |                                     |      |
| 2 | 第1期常設展<br>「奥田元宋と奥田小由女の世界」  | 常設展のみの期間<br>6月18日～7月5日 (16日間)       | 503人 |
|   |  | 9月1日～9月6日 (6日間)                     | 81人  |
|   |  | 展示期間<br>6月18日～10月4日 (94日間)          | 665人 |

|  |  |  |                    |
|--|--|--|--------------------|
|  | <p>【概要】元宋作品は吉舎への疎開期の小作を多く展示しつつ、元宋の赤の大作を合わせて展示。小由女作品は「白の時代」から「色彩の時代」にかけての代表作を展示。「奥田小由女展」にて初公開した《天翔ける讃歌》のレリーフを前室に常設展示とした。総点数 44 点。</p> |  |                    |
| 3  | 第 2 期常設展<br>「奥田元宋と奥田小由女の世界」  | 常設展のみの期間<br>10月27日～11月1日 (6日間)               | 200人               |
|  |  | 展示期間<br>10月6日～12月20日 (67日間)                  | 316人               |
| <p>【概要】秋から冬にかけての会期を意識し、元宋作品では初期作品に加えて《彩溪涼々》《綵苑》など秋をテーマとした作品を中心に展示。小由女作品では白の時代から色彩の時代の代表作に加え、寄贈を受けた《月の舟》を当館で初めて展示した。総点数 42 点。</p> |  |  |                    |
| 4  | 第 3 期常設展<br>「奥田元宋と奥田小由女の世界」  | 常設展のみの期間<br>1月19日～2月7日 (15日間)                | 93人                |
|  |  | 展示期間<br>12月22日～3月21日 (72日間)                  | 124人               |
| <p>【概要】元宋作品では《春耀》をはじめ冬と春をイメージした作品を展示し新春を演出。小由女作品では寄贈を受けた日展出品作《終熄への祈り》を当館で初めて展示した。総点数 41 点。</p>                                   |  |  |                    |
| 5  | 第 4 期常設展<br>「奥田元宋と奥田小由女の世界」  | 常設展のみの期間 年度内はなし<br>展示期間<br>3月23日～3月31日 (8日間) | 31人                |
|  |  | 全展示期間<br>※会期 3月23日～6月20日 (71日間)              |                    |
| <p>【概要】元宋作品では本名「巖三」の落款の作品から晩年の作品まで幅広い表現を辿る作品を展示。小由女作品では「白の時代」から「色彩の時代」の作品を幅広く展示した。総点数 43 点。</p>                                  |  |  |                    |
| 合 計 262日<br>(常設展のみ 64日間)   |  |  | 1,596人<br>(1,337人) |

(2) 企画展の開催

企画展は、年 5 回の企画展を実施した。

|   | 名 称  | 会 期 (開館日数)         | 入館者数   |
|---|--|--------------------|--------|
| 1 | 文化勲章受章記念<br>奥田小由女展<br>～元宋作品とともに  | 4月29日～6月14日 (42日間) | 5,396人 |
|   | <p>【概要】自由な発想による表現と伝統的で精緻な技法が共存する人形表現で、日展を中心に工芸造形界の第一人者として活躍を続ける作家・奥田小由女。2020年に人形作家として初めて文化勲章を受章したことを記念して、奥田小由女の創作の軌跡を振り返る大規模な回顧展として開催。夫である同郷の日本画家・奥田元宋の代表作と合わせて、三次市を原風景とした芸術家夫妻が高めあった芸術表現を紹介した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館、三次市、三次市教育委員会、中国放送、中国新聞社)</p> |                    |        |

|   |  |  |         |
|---|--|--|---------|
| 2 | 手塚治虫展  | 7月7日～8月30日<br>(49日間)                           | 12,533人 |
|   | <p>【概要】日本のマンガ・アニメ界に金字塔を打ち立てた巨匠・手塚治虫の初期から晩年にいたる仕事のなかから選りすぐった直筆原稿やアニメーションセル画、および映像、写真や愛用品などの豊富な資料を通して、その生涯と業績を多角的に紹介した。</p> <p>本展覧会は「子どもたちに贈る三次の夏休み 奥田元宋・小由女美術館 みよし風土記の丘ミュージアム 三次商工会議所 ジョイント事業」の一環として実施した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館，中国放送，中国新聞社)</p> |  |         |
| 3 | 動くゴッホ展   | 9月8日～10月25日<br>(42日間)                          | 16,622人 |
|   | <p>【概要】後に近代美術の父と呼ばれた短くも色濃いゴッホの数奇な画家人生を垣間見ながら、先進のデジタル技術によって命を吹き込まれた作品群が、様々な体感型の空間演出手法と共に一堂に会す(新ゴッホ芸術空間)として開催。世界中に点在する美術館が収蔵するゴッホ作品をベースに紡ぎだす、驚きの表現世界をお楽しみいただいた。</p> <p>(企画展主催者：当美術館，中国放送，中国新聞社)</p>  |  |         |
| 4 | ジュディ・オング倩玉<br>木版画の世界展  | 11月3日～令和5(2023)年1月17日<br>(63日間)                | 13,120人 |
|   | <p>【概要】歌手、女優として活躍するジュディ・オング氏の木版画家「ジュディ・オング倩玉(せいぎょく)」としての活動を紹介する展覧会。「日本家屋」「花」をテーマにした作品を中心に、2005年の日展特選作品を含む初期の作品から最新作まで、および制作資料を一堂に展示した。</p> <p>展覧会初日に出演作家であるジュディ・オング倩玉氏によるミニトークショーとサイン会を実施した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館，中国放送，中国新聞社)</p>             |  |         |
| 5 | 斎藤清展-Modern Realist-   | 2月9日～3月31日<br>(44日間)<br>※会期2月9日～4月9日<br>(52日間) | 2,914人  |
|   | <p>【概要】日本近代版画界を代表する画家・斎藤清(1907-1997)。海外で高い評価を得て、日本でも今なお人々を魅了する斎藤清の初期から晩年までの作品・資料を一堂に展示。日本の伝統表現に西洋の近代造形を取り入れた作品世界を紹介した。</p> <p>また、3月26日(日)には美術館あーとあい・きさの松島俊宏館長によるスペシャルギャラリートークを、3月19日(日)にはワークショップを実施した。</p> <p>(企画展主催者：当美術館，中国放送，中国新聞社)</p>   |  |         |

※常設展 226日 1,596人(常設展のみ 64日間 1,337人) 企画展 240日間 50,585人  
小計 304日間 52,181人

※貸会場等 1,994人

合計 54,175人

## 2 調査研究，収集保管事業

### (1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続中である。

### (2) 作品収集

奥田元宋・小由女作品についての寄贈・寄託の受け入れを継続している。

### 3 市民活動支援及び教育普及事業

#### (1) 市民ギャラリー等活用事業

市内各種文化団体の作品の成果の発表の場として展示会場を提供した。

みよし文化連盟「第19回みよし文化祭『美術展』」

令和5年1月29日(日)～2月4日(土)

#### (2) ロビーコンサート事業

月1回の満月日に地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場としてコンサートを実施した。

年度内10回実施し、観客は延べ1,610人だった。

初めてとなる新春イベント「沖田孝司&千春新春コンサート」を実施した。

令和5年1月2日(月), 3日(火)の両日, 14時から開催し, 2日間通して180人の集客となった。

#### (3) 学校連携事業

##### ア 鑑賞事業

鑑賞希望の学校と連携し, 展示作品についての児童相互の意見交換など事前学習を行ってから鑑賞を実施し, 児童生徒の鑑賞力と発表力を養っている。

|     | 対 象 | 参加校数 | 参加人数 |
|-----|-----|------|------|
| 1   | 小学生 | 12校  | 591人 |
| 2   | 中学生 | 1校   | 37人  |
| 合 計 |     | 13校  | 628人 |

##### イ ワークショップ事業

斎藤清展関連ワークショップとして3月19日(日)に当館学芸員を講師に「紙版画」ワークショップを実施し, 7人の参加があった。

### 4 広報, 宣伝活動事業

#### (1) 各企画展に伴う広報内容

|   | 企画展名                            | 広報内容  |
|---|---------------------------------|---|
| 1 | 文化勲章受章記念<br>奥田小由女展<br>～元宋作品とともに | 中国新聞社(紙面広告・作品解説連載など), 中国放送(ラジオCM, 電話出演で展覧会紹介等), 美術の窓, さんいんキラリ, 三次ケーブルビジョン(展覧会紹介など), その他テレビニュース報道内, 雑誌・WEBサイトでの展覧会紹介 |
| 2 | 手塚治虫展                           | 中国新聞社(作品解説連載など)。中国放送(ラジオCM, 電話出演で展覧会紹介等)。おのみちエフエム, エフエムふくやま(電話出演で展覧会紹介), テレビニュース報道内, 雑誌・季刊誌・WEBサイトでの展覧会紹介。          |

|   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
| 3 | 動くゴッホ展                | 中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオCM、電話出演で展覧会紹介等）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・WEBサイトでの展覧会紹介   |
| 4 | ジュディ・オング倩玉<br>木版画の世界展 | 中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオCMや番組への電話出演）、エフエム福山および尾道エフエム放送番組内での電話出演、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイトでの展覧会紹介、ジュディ・オング氏事務所による作品解説動画配信 |
| 5 | 斎藤清展-Modern Realist-  | 中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など）、中国放送（ラジオCMや番組への電話出演）、エフエム福山および尾道エフエム放送番組内での電話出演、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイトでの展覧会紹介。                        |

(3) その他広報、宣伝活動

地域の芸術、文化の振興に寄与することを目的に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、美術館や常設展、企画展毎の広報とは別に次のような広報活動を適宜行った。

ア インターネットを活用した広報活動

- ① 美術館ホームページの運営
- ② 各種 SNS アカウントの活用  
(Twitter・Instagram・LINE)

イ 独自の事業・イベント活動

- ① Instagram フォトコンテストを実施した。  
入賞作品 8 点をホームページにアップし館内掲示を行った。  
令和 5(2022)年 3 月 7 日(火) から「自慢の満月フォト 2023 春」実施。

| コンテスト名          | 実施期間                     | 投稿数   |
|-----------------|--------------------------|-------|
| 自慢の満月フォト 2022 春 | 3 月 18 日(金)～ 5 月 22 日(日) | 62 点  |
| 自慢の満月フォト 2022 秋 | 9 月 10 日(土)～11 月 13 日(日) | 224 点 |

- ② 「4 館周遊割引券」を発行。財団所属の美術館・博物館の連携及び来館者の周遊を促進する。
- ③ 美術館ニュースの発行（令和 4(2022)年 4 月発行：4,000 部）

ウ 他館・地域と連携した活動

- ① 備北交通株式会社と連携し、直行便（広島バスセンター～美術館の往復）を運行。

- ② 【広島県民割（地域観光事業支援）】
- ・「やっぱ広島じゃ割」クーポンの取り扱いの実施  
4月1日(金)～12月27日(火) 243枚の利用
  - ・「NEW やっぱ広島じゃ割（広島県の全国旅行支援）」のクーポン（デジタルクーポン）取り扱いの実施  
2023年1月10日(火)～3月31日(金)（6月30日まで）7件
- ③ 一般社団法人三次観光推進機構の「三次めぐりキャンペーン」事業へ協賛施設として登録。  
（全協賛施設で押されたスタンプ数のⅠ期～Ⅲ期の合計4,889件）
- ④ 三次ワイナリー×トレッタみよし×奥田元宋・小由女美術館3施設コラボ
- ・ハロウィンスタンプラリー実施。  
10月1日(土)～10月31日(月)（応募箱投函枚数 478枚）
  - ・冬のスタンプラリー実施。  
2月1日(水)～2月28日(火)（応募箱投函枚数 102枚）
- ⑤ シャッターアート  
7月9日(土)～12月31日(土)まで、広島県美術館ネットワーク幹事館の呼びかけで、県内8館が参加し、広島市地下街の「紙屋町シャレオ」の南通りの店舗のシャッターに、各美術館のコレクションの画像をラッピングした。  
（泉美術館、ウッドワン美術館、海の見える杜美術館、奥田元宋・小由女美術館、なかつた美術館、広島県立美術館、広島市現代美術館、ひろしま美術館、ふくやま美術館）

エ 新型コロナウイルス感染症拡大による広報活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、県外への広報活動を最低限とし、県内を中心に企画展のポスター・チラシ等を送付し、広報活動を実施した。

5 美術館ボランティア「OGS 夢スタッフ」の活動状況

(1) 総括

- ア 登録総数 202人（延べ活動者数2,983人）  
活動者数は受付・監視2,738人、環境美化135人、広報60人、呈茶20人、事務イベント30人
- イ 活動内容  
受付・監視、環境美化、イベント補助、発送作業、広報（ボランティアニュース発行）、呈茶
- ウ 先進地視察  
華鶴大塚美術館（井原市）、大原美術館（倉敷市）  
10月27日(木)、10月30日(日)2回実施 参加者58名

エ 各企画展内覧会と企画展研修会の実施

| 摘 要                |          | 参加者数 |
|--------------------|----------|------|
| 奥田小由女展～元宋作品とともに    | 内覧会      | 41 人 |
| 手塚治虫展              | 研修 2 回実施 | 37 人 |
| 動くゴッホ展             | 研修 2 回実施 | 47 人 |
| ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展 | 内覧会      | 35 人 |
|                    | 研修 2 回実施 | 31 人 |
| 斎藤清展               | 内覧会      | 15 人 |
|                    | 研修 2 回実施 | 21 人 |

【収益事業】

1 美術関連品提供事業（ショップ事業）

(1) 常設ショップ

元宋・小由女作品のオリジナルグッズを中心に販売を実施。

商品売上額 3,365,031 円（内図録販売額 681,100 円）

(2) 企画ショップ

各企画展において関連グッズや関連書籍の販売を実施。

（販売は委託販売で手数料収入）

| 企画展名               | 売上額          | 手数料収入額      |
|--------------------|--------------|-------------|
| 奥田小由女展             | 2,431,358 円  | 393,912 円   |
| 手塚治虫展              | 10,852,868 円 | 1,535,962 円 |
| 動くゴッホ展             | 12,453,348 円 | 2,173,144 円 |
| ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展 | 8,047,212 円  | 1,307,295 円 |
| 斎藤 清展              | 2,087,600 円  | 417,520 円   |
| 合 計                | 35,872,386 円 | 5,827,833 円 |

2 レストラン賃貸借事業

年間を通じて安定したレストラン経営ができるようサポートし、賃貸借事業を実施した。

| 月 | 利用者数    | 企画展名          |
|---|---------|---------------|
| 4 | 852 人   | 奥田小由女展（4/29～） |
| 5 | 1,286 人 | 奥田小由女展        |
| 6 | 956 人   | 奥田小由女展（～6/14） |
| 7 | 985 人   | 手塚治虫展（7/7～）   |
| 8 | 1,509 人 | 手塚治虫展（～8/30）  |

|    |         |                            |
|----|---------|----------------------------|
| 9  | 1,149人  | 動くゴッホ展 (9/8～)              |
| 10 | 1,555人  | 動くゴッホ展 (～10/25)            |
| 11 | 1,369人  | ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展 (11/3～) |
| 12 | 971人    | ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展         |
| 1  | 1,061人  | ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展 (～1/17) |
| 2  | 808人    | 斎藤清展 (2/9～)                |
| 3  | 1,159人  | 斎藤清展 (～3/31) (会期は4/9まで)    |
| 合計 | 13,660人 |                            |

4月～3月までのレストラン利用客数 13,660人 (44.4人/日)

### 3 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施している。茶室「待月庵」にて呈茶を行うボランティア「茶室協議会」の協力で、土日祝日を中心に感染対策を行ったうえで呈茶サービスを実施した。

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 開催日数   | 35日                                 |
| 利用客数   | 547人(延人数)                           |
| 協力登録団体 | 5団体(裏千家, 表千家, 上田宗箇流, 松莚流, OGS夢スタッフ) |

#### 【その他事業】(相互扶助事業)

##### 美術館サポートメンバー向け事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの加入促進を図った。

(令和4(2022)年度サポートメンバー加入状況)

一般会員 104人, 特別会員 232人, 法人会員 43団体 合計 379会員

#### 【法人関係】

##### 令和4(2022)年度評議員会及び理事会の開催

評議員会, 理事会を次のとおり開催した。

|   | 日 時                          | 会 議 名                    | 議 事 等  |
|---|------------------------------|--------------------------|--|
| 1 | 令和4(2022)年6月1日(水)<br>10:00～  | 令和4(2022)年度<br>第1回理事会    | ・令和3(2021)年度 事業報告及び<br>決算報告<br>・令和4(2022)年度 第1回定時評<br>議員会の招集について<br>・顧問の選任について |
| 2 | 令和4(2022)年6月16日(木)<br>14:00～ | 令和4(2022)年度<br>第1回定時評議員会 | ・定時評議員会議長の選出について<br>・令和3(2021)年度 事業報告及<br>び決算報告ほか                              |



|   |                               |                          |   |
|---|-------------------------------|--------------------------|---|
| 3 | 令和4(2022)年11月24日(木)<br>14:00～ | 令和4(2022)年度<br>第2回理事会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4(2022)年度企画展(案)</li> <li>・令和4(2022)年度 前期事業報告, 前期収支報告ほか</li> </ul>   |
| 4 | 令和5(2023)年3月6日(月)<br>15:00～   | 令和4(2022)年度<br>第3回理事会    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5(2023)年度 事業計画(案), 収支予算(案)</li> <li>・令和5(2023)年度 資金調達及び設備投資の見込み(案)について</li> <li>・基本財産及び特定資産の取り崩し(案)について</li> <li>・令和4(2022)年度 第2回定時評議員会の招集について</li> </ul> |
| 5 | 令和5(2023)年3月22日(水)<br>14:00～  | 令和4(2022)年度<br>第2回定時評議員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5(2023)年度 事業計画(案), 収支予算(案)</li> <li>・令和5(2023)年度 資金調達及び設備投資の見込み(案)について</li> <li>・基本財産及び特定資産の取り崩し(案)について</li> </ul>  |

## 令和 4 (2022) 年度 三良坂平和美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行った。

来館者の安全確保を図るため、台風及び大雪による交通インフラの状況を勘案し休館とした。

○台風 14 号による臨時休館期間

令和 4 年 9 月 19 日(月・祝)

○大雪による臨時休館期間

令和 5 年 1 月 24 日(火)午後 1 時から午後 5 時まで

令和 5 年 1 月 25 日(水)～1 月 26 日(木)

### 1 展示事業

#### (1) 常設展

当館所蔵の柿手春三作品を活用し展示した。

|              | 名 称                             | 会 期 (開館日数)   | 入館者数    |
|--------------|---------------------------------|--|---------|
| 1            | I 期 自然に学ぶ                       | 4 月 1 日～6 月 5 日 (57 日間)<br>コロナにより変更<br>4 月 5 日～6 月 5 日 (54 日間) | 1,504 人 |
|              | 【概要】柿手作品の中から風景、静物の作品を紹介した。      |  |         |
| 2            | II 期 海 その愛                      | 6 月 11 日～7 月 31 日 (42 日間)                                      | 1,126 人 |
|              | 【概要】柿手作品の中から海を題材にした作品を紹介した。     |  |         |
| 3            | III 期 柿手の描いた平和                  | 8 月 6 日～8 月 28 日 (20 日間)                                       | 216 人   |
|              | 【概要】柿手が生涯求めた平和をテーマにした作品を紹介した。   |  |         |
| 4            | IV 期 柿手さんの作品がマスキングテープアートになりました! | 9 月 17 日～12 月 25 日 (86 日間)                                     | 4,953 人 |
|              | 【概要】柿手作品を 5 点、マスキングテープで表現した。    |  |         |
| 5            | V 期 人                           | 1 月 10 日～2 月 5 日 (22 日間)                                       | 125 人   |
|              | 【概要】柿手作品の中から人物スケッチやデッサンを紹介した。   |  |         |
| 6            | VI 期 白と黒                        | 2 月 10 日～3 月 12 日 (27 日間)                                      | 194 人   |
|              | 【概要】柿手作品の中からイラストやスケッチを紹介した。     |  |         |
| 合 計 (251 日間) |                                 |  | 8,118 人 |

## (2) 企画展

|                | 名 称   | 会 期 (開館日数)                                       | 目標入館者数 |
|----------------|---|--|--------|
| 1              | 飯田泰子展<br>—野にあるように—  | 4月1日～6月5日 (57日間)<br>コロナにより変更<br>4月5日～6月5日 (54日間) | 1,501人 |
|                | 【概要】広島市在住の造形作家飯田泰子さんの新作を紹介した。鳥だけでなくリアルな植物も展示した。                                 |  |        |
| 2              | 県北アートシーン 32nd   | 6月11日～7月10日 (26日間)                               | 875人   |
|                | 【概要】絵画, 立体, 写真, 陶芸等, 県北在住ならびに県北に所縁のある現在活躍中の作家の優れた作品を広く地域の人々に紹介した。               |  |        |
| 3              | 第10回 平和の灯ろうコンテスト作品展   | 7月15日～7月31日 (16日間)                               | 251人   |
|                | 【概要】広く平和祈念の機運を高めることを目的に「第10回平和の灯ろうコンテスト」の応募作品をすべて展示した。                          |  |        |
|                | 柿手の描く平和   | 8月6日～8月28日 (20日間)                                | 216人   |
|                | 【概要】三良坂平和美術館所蔵の柿手作品の中から平和をテーマに描かれた作品を展示した。                                      |  |        |
| 4              | マスキングテープアート<br>みらさかはりぺたびじゅつかん   | 9月17日～12月25日 (86日間)                              | 4,953人 |
|                | 【概要】廿日市市在住のアーティストにしもとおさむさんと三次市在住の手取実咲, 的場由樹さんと来館者で作るマスキングテープを使った体験型アート作品の展示をした。 |  |        |
| 5              | みらさかコレクション①   | 1月10日～2月5日 (22日間)                                | 319人   |
|                | みらさかコレクション②   | 2月10日～3月12日 (27日間)                               |        |
|                | 【概要】三良坂平和美術館が所蔵している作品の展示をした。  |  |        |
| 入館者数合計 (251日間) |   |  | 8,115人 |

※主催はすべて三良坂平和美術館

入館者数 常設展 (251日間) 8,118人 企画展 (251日間) : 8,115人

## 2 市民活動支援及び教育普及事業

## (1) 市民ギャラリー活用事業

企画展と企画展の間の期間を利用して, 中学生・町内文化祭作品展等の展示会場としての利用はなかった。

|   | 名 称          |
|---|--------------|
| 1 | 三良坂町民文化祭作品展  |
|   | 【概要】コロナのため中止 |

## (2) 地域連携事業

## ア 鑑賞事業

展示作品の鑑賞を通して、児童生徒・園児や地域の方々に美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらった。

|     | 名 称            | 期 日              | 講 師   | 参加者数  |
|-----|----------------|------------------|-------|---|
| 1   | 飯田泰子展          | 4月28日            | 美術館館長 | みらさか学園<br>全 校 127人<br>先 生 12人<br>計 139人   |
| 2   | 平和の灯ろうコンテスト作品展 | 7月15日～<br>7月31日  | 〃     | デイサービスウイズ 23人<br>みいちゃん家 16人<br>ユウシャイン 5人<br>デイサービスたすく 4人<br>川地中学校文芸部 17人<br>計 65人                   |
| 3   | マスキングテープ・アート   | 9月17日～<br>12月25日 | 〃     | 三次小学校 42人<br>みらさか小学校2年生 35人<br>みらさか小学校4年生 14人<br>デイサービス相扶園 21人<br>のぞみ苑 8人<br>着物の山下三次店 14人<br>計 134人 |
| 合 計 |                |                  |       | 338人  |

## イ ワークショップ事業

|   | 名 称              | 期 日                  | 講 師   | 参加者数           |
|---|------------------|----------------------|-------|----------------|
| 1 | みらさか小学校ワークショップ   | 6月16日                | 美術館職員 | みらさか小5年<br>21人 |
| 2 | マスキングテープ・アート(東城) | 8月1日                 | 〃     | 11人            |
| 3 | マスキングテープ・アート     | 9月17日<br>～<br>12月24日 | 〃     | 1,717人         |
| 4 | マスキングテープ・アート     | 1月20日                | 〃     | 25人            |
|   |                  |                      |       | 1,774人         |

ウ 参加型平和への取り組み事業（三次市地域振興部 定住対策・暮らし支援課 共生社会推進係と共催）

【第10回 平和の灯ろうコンテスト】

折鶴を使って灯籠作りなどのワークショップへの参加を市内の子どもからお年寄りまで幅広い層の方に呼びかけた。完成作品は館内に展示するなど、ワークショップの取り組みを通して美術館に対する関心をより深めてもらう取組を行った。

|   | 名 称   | 期 日                | 講 師             | 参加者数                           |   |
|---|---|--------------------|-----------------|--------------------------------|---|
| 1   | 第10回平和の灯ろうコンテスト   | 6月24日<br>締め切り      | なし              | 419人                           |   |
|   | <p>【概要】広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」を（三次市地域振興課定住対策・暮らし支援課共生社会推進係と協力して）開催した。</p> <p>◎鶴の解体は三次市内の介護施設にお願いした。</p> <p>◎応募について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でも団体でも応募できる。</li> <li>・お渡しする灯ろう用紙と折り鶴を使用すること。</li> <li>・作品は平和に関連性を感じさせるものとする。</li> </ul> |                    |                 |                                |   |
| 2   | ◎賞の結果について   |                    |                 |                                |   |
|   |   | 幼児の部               | 小学生の部           | 中学生の部                          | 一般の部                                      |
|   | 大賞  | 吉舎保育所<br>き組(年中)    | 川地小学校<br>6年生    | 川地中学校<br>文芸部2年生                | ふじわらまな<br>藤原真那<br>かんな とうり しおん<br>環奈・橙理・詩音 |
|   | 優秀賞   | 神杉保育所<br>ゆり組(年長)   | 三次小学校<br>3年生    | 三良坂中学校<br>3年生                  | デイサービスセンター<br>みいちゃん家                      |
|   | 特別賞   | こうぬ保育所<br>うさぎ組(年少) | 酒河小学校<br>ほほえみ学級 | 三和中学校<br>1年生<br>おきたらいと<br>沖田頼飛 | デイサービスセンター<br>ふの                          |
| <p>応募数 (個人・団体合わせて) 419点<br/>         幼児の部 64点 小学生の部 170点 中学生の部 56点<br/>         一般の部 129点</p> |   |                    |                 |                                |   |

令和4(2022)年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館  
事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行った。

来館者の安全確保を図るため，台風及び大雪による交通インフラの状況を勘案し休館とした。

○台風14号による休館期間 令和4年9月19日(月・祝)

○大雪による休館期間 令和5年1月25日(水)～1月26日(木)

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

奥田元宋・小由女夫妻の出身地にある美術館として，地元の作家及び近年活躍の目覚ましい県内作家等の作品や長年継続して創作活動している団体等の作品を県北の地で広く紹介し，地域の芸術・文化の振興に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

|   | 展 示 名   | 会 期 (開館日数)                      | 入館者数<br>(常設展のみの期間) |
|---|---|---------------------------------|--------------------|
| 1 | 常 設 展   | 4月1日～令和5(2023)年3月31日<br>(309日間) | 172人               |
|   | 【概要】<br>当館所蔵の奥田元宋・小由女作品及び資料を，両氏の出身地にある美術館として通年展示した。 |                                 |                    |

(2) 企画展の開催

|   | 名 称   | 会 期 (開館日数)  | 入館者数   |
|---|---|---|--------|
| 1 | 一場洋次郎絵画展<br>－蒸気機関車に魅せられて－   | 4月1日～4月10日 (9日間)<br>※全会期 2月27日～4月10日<br>(31日間)      | 105人   |
|   | 【概要】三次市在住の一場洋次郎氏が，本格的に筆を握るきっかけになった蒸気機関車をモチーフとした大型作品を初期の作品から最新作まで一堂に展示した。                          |   |        |
| 2 | 井上直樹・立花敏之二人展<br>－故郷の景色－   | 4月17日～6月5日 (39日間)<br>前期：4月17日～5月8日<br>後期：5月14日～6月5日 | 1,017人 |
|   | 【概要】会期を二期に分け，前期は井上直樹氏が30年間撮り溜めた吉舎町内の風景を活写したモノクロ写真，後期は全国各地の風景や鉄道，山野草を色鮮やかなカラー写真で表現した立花敏之氏の作品を展示した。 |   |        |
| 3 | 第16回広島県日本画協会<br>作品展   | 6月12日～7月24日 (38日間)                                  | 534人   |

|     |  |   |        |
|-----|--|---|--------|
|     | —それぞれの春夏秋冬—  |   |        |
|     | 【概要】16回目となる広島県日本画協会会員の作品展。<br>今年度は大型作品の出展も可とし、最新作を中心に42点を展示し紹介した。                                      |   |        |
| 4   | 小笠原まきカレンダーの世界<br>～安らぎのイラスト<br>&ホスピタルアート～   | 7月31日～9月11日(37日間)                                   | 282人   |
|     | 【概要】やすらぎの作家として知られる小笠原まき氏のカレンダー作品やホスピタルアート約100点を展示し紹介した。初日には作家によるギャラリートークを実施。8月には児童向けのワークショップを開催し好評を得た。 |   |        |
| 5   | 佐々木一則金属造形展<br>—つなぐ—  | 9月18日～10月30日(39日間)                                  | 412人   |
|     | 【概要】広島県在住の金属工芸作家佐々木一則氏の金属造形作品を、今年度の県美展大賞受賞作品も交えて展示し紹介した。   |   |        |
| 6   | 第18回広島日展会総合小品展   | 11月6日～12月18日(37日間)                                  | 372人   |
|     | 【概要】日本最大の公募展「日展」を舞台に活躍する広島日展会会員の作品を一堂に展示し、書・絵画・彫刻・工芸美術など幅広いジャンルの芸術を一度に鑑賞できる展示とした。                      |   |        |
| 7   | 吉舎町内園児・児童・生徒<br>作品展  | 令和5(2023)年1月8日～<br>2月19日(38日間)                      | 276人   |
|     | 【概要】吉舎町内の園児及び小中高校生が授業で制作した作品を①園児・小学生②中学生・高校生の2つのカテゴリー別に期間を設けて展示し、地域の子供たちの芸術への関心の向上を図る展示とした。            |   |        |
| 8   | 鉄の造形 木本一之展   | 令和5(2023)年2月26日～<br>3月31日(29日間)<br>※全会期 ～4月9日(37日間) | 309人   |
|     | 【概要】金属工芸作家木本一之氏が20台後半にヨーロッパを巡り習得した「鍛鉄」の技法を紹介するとともに独自の作風を持つ47点を展示し紹介した。                                 |   |        |
| 合 計 |  |   | 3,307人 |

※常設展(309日間)172人 企画展(266日間)3,307人

合計 309日間 3,479人

## 2 教育普及事業

### (1) 地域連携事業

#### ア 鑑賞事業

児童生徒の鑑賞力と発表力を養いながら美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうこと、また地域の方々にも鑑賞を通して美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうことを目的に実施した。

【団体鑑賞受入実績】

|     | 事業名   | 期日                      | 入館者数 |
|-----|---|-------------------------|------|
| 1   | 美術作品鑑賞と資料館展示見学<br>(社会福祉法人あらくさ)              | 9月9日                    | 4人   |
| 2   | 留学生との交流事業<br>企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(日彰館高等学校) | 10月29日                  | 62人  |
| 3   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(ハナミズキの会)              | 11月17日                  | 11人  |
| 4   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(岡電バスツアー)              | 11月25日                  | 37人  |
| 5   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(岡電バスツアー)              | 11月29日                  | 36人  |
| 6   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(岡電バスツアー)              | 12月1日                   | 31人  |
| 7   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(吉舎保育所)                | 令和5(2023)年<br>1月17日～19日 | 51人  |
| 8   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>(八幡小学校)                | 令和5(2023)年<br>3月16日     | 14人  |
| 9   | 地域学習(フィールドワーク)<br>(吉舎中学校)                   | 令和5(2023)年<br>3月17日     | 19人  |
| 合 計 |   |                         | 265人 |

イ ワークショップ事業

|     | 事業名   | 期日     | 講師                 | 参加者数 |
|-----|---|--------|--------------------|------|
| 1   | ミニ植木鉢で風鈴づくり<br>素焼きのミニ植木鉢を利用して、参加者が思い思いのデザインを施し風鈴に仕上げた。                          | 8月7日   | イラストレーター<br>小笠原 まき | 7人   |
| 2   | 自分だけのキーホルダー<br>を作ってみよう<br>ステンレスの端材を利用してキーホルダーだけでなくブローチやペンダント<br>など思い思いの作品を制作した。 | 10月16日 | 金属工芸作家<br>佐々木 一則   | 9人   |
| 合 計 |   |        |                    | 16人  |



## II 吉舎歴史民俗資料館事業

### 1 展示事業

三玉大塚古墳出土品, 南天山城跡出土品, 和智氏関係資料及び昔の農家(囲炉裏), 民具・農具の展示を通して, 郷土の歴史・文化に対する理解や親しみを深めてもらいながら, 地域文化の向上に寄与することを目的に開催した。

#### (1) 常設展の開催

吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示した。(常設展のみの期間の入館者: 70人)

#### (2) 企画展の開催

|             | 名 称  | 会 期                                  | 入館者数 |
|-------------|--|--------------------------------------|------|
| 1           | 気まま・そのまま・表現大好き！－社会福祉法人あらくさの作品展－  | 4月1日～4月3日 (3日間)<br>※全会期 3月5日～ (25日間) | 6人   |
|             | 【概要】甲奴町の福祉施設に通う障害者の作品を展示し広く紹介した。<br>昨年度の夏の企画展がコロナウイルスにより休館となり2日間のみ開催となったため, 出展事業者からの強い要望により再度展示した。           |                                      |      |
| 2           | 吉舎ふれあい祭り<br>－郷土に咲く夏の華－   | 5月1日～8月21日 (98日)                     | 71人  |
|             | 【概要】吉舎町の夏の風物詩「きさふれあい祭り」に使用されたポスターや記録写真等を展示し, その歴史を振り返るとともに広く紹介した。<br>また, 祭り当日(8/15)には20時まで無料開放し多くの方にご覧いただいた。 |                                      |      |
| 3           | 歌人 中村憲吉－故郷の詩－  | 9月3日～11月4日 (56日間)                    | 46人  |
|             | 【概要】中村憲吉記念文芸館の協力のもと, 明治末期から昭和初頭まで活躍したアララギ派の歌人中村憲吉ゆかりの品々を展示し, その生涯と業績を紹介した。                                   |                                      |      |
| 4           | 竹工人 佃信一と<br>県北竹工芸の世界   | 11月15日～12月25日 (70日間)                 | 48人  |
|             | 【概要】吉舎町の無形文化財に指定されていた佃信一氏の竹細工作品を中心に, 市内で活躍していた竹細工師の作品と歴史を紹介した。   |                                      |      |
| 5           | 児童生徒の俳句短歌作品展   | 令和5(2022)年1月8日<br>～2月26日 (42日間)      | 121人 |
|             | 【概要】三次市文化連盟が主催する「みよし文化祭」と連携し, 投稿された小中高校生の作品の中から入賞した95点を展示し, 子どもの頃から日々の暮らしの中で文芸に親しむ態度を涵養する一助とした。              |                                      |      |
| 合 計 (269日間) |  |                                      | 292人 |

※入館者数は歴史民俗資料館のみ入館者数(美術館と併せての入館者は除いた数字)

## 2 教育普及事業

### (1) 地域連携事業

#### ア 鑑賞事業

児童生徒や地域の方々に、地域の歴史や昔の農家の日常生活（囲炉裏等）・民具・農具等に対する理解や親しみを深めてもらうことを目的に実施した。  
(美術館団体鑑賞との重複 9件)

#### 【団体鑑賞受入実績】

|     | 名 称   | 期 日                     | 入館者数 |
|-----|---|-------------------------|------|
| 1   | 郷土の歴史学習<br>資料館展示見学（後鳥羽上皇・銀山街道の学習）<br>（吉舎小学校6年生） | 5月17日                   | 17人  |
| 2   | 郷土の歴史学習<br>「われら吉舎町歴史案内人」資料館企画展示見学<br>（吉舎小学校6年生） | 6月1日                    | 18人  |
| 3   | 美術作品鑑賞と企画展展示作品鑑賞<br>（社会福祉法人あらくさ）                | 9月7日                    | 4人   |
| 4   | 留学生との交流事業<br>企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（日彰館高等学校）     | 10月29日                  | 62人  |
| 5   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（ハナミズキの会）                  | 11月17日                  | 11人  |
| 6   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（岡電バスツアー）                  | 11月25日                  | 37人  |
| 7   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（岡電バスツアー）                  | 11月29日                  | 36人  |
| 8   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（岡電バスツアー）                  | 12月1日                   | 31人  |
| 9   | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（吉舎保育所）                    | 令和5(2023)年<br>1月17日～19日 | 51人  |
| 10  | 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学<br>（八幡小学校）                    | 令和5(2023)年<br>3月16日     | 14人  |
| 11  | 地域学習（フィールドワーク）<br>（吉舎中学校）                       | 令和5(2023)年<br>3月17日     | 19人  |
| 合 計 |   |                         | 300人 |

#### イ ワークショップ事業

|   | 事 業 名          | 期日     | 講 師            | 参加者数 |
|---|----------------|--------|----------------|------|
| 1 | 竹細工 DE フォトフレーム | 11月20日 | 竹工芸作家<br>門田 祐一 | 15人  |

|   |      |
|---|------|
| 門田祐一氏と福山竹細工同好会の会員の指導により、フォトフレームに嵌める六つ目編みの竹細工を体験した後、企画展の展示作品について門田氏に解説いただいた。 |      |
| 合 計   | 15 人 |

※美術館あーとあい・きさ (309 日間) 3,479 人

吉舎歴史民俗資料館 (269 日間) 362 人

合計 309 日間 3,841 人